

ぼくの未来

筑波大学附属小学校四年 矢部 泰旺

ぼくは、人が安心してできる場所を作りたいとずっと思っていました。日本は災害が多い地域なので、地震、豪雨、土砂崩れ、津波などの命に関わる出来事が毎年のように起きています。自宅がこわれなければ、また町全体で被害をおさえることができれば、人の命は守れます。ぼくは、建築家になって、人のもう一枚の皮ふのような家をつくり、まちをつくり、人の命を守りたいと思います。

建築の仕事は、公共のしせつをもっと使いやすく、きれいに、面白くすることや、都市設計のようにまちをつくることもします。今ある空間よりも魅力的に、子供から高齢者までみんなが心地よく暮らせるように設計するという仕事です。みんなが心地よく暮らせるように設計するという仕事です。

そんな建築家になるためには、たくさんのお金を学ばないといけません。まず、数学と英語は欠かせません。さらに、コミュニケーション能力を高めなければいけません。チーム

で活動する時は、この能力がないとかえって迷わくになってしまいます。ぼくは、他の人の視点も大事にしたいです。自分で考えつくことは、二つ三つの案だとしても、他の人の意見を交えると、数倍の案になり、その分一人よがりではなくみんなが考える理想の建物になると思います。さらに、海外の人が加われば、新たな視点を提供してくれ、良いしげきになり、今まで見たこともないようなワクワクする建物が出来上がるかもしれません。

専門分野のことだけでなく、日本から活動のはばを広げ海外留学のことも考えると、費用は大きくかかります。何にお金がかかるか考えてシートに書くと、たくさんお金が必要であることが分かり、大変驚きました。

夢を実現させるためには、費用と知識、そして何より夢に対する熱い心が必要だと思えます。未来へ向けて一歩一歩確実に現実のものとなるよう前進していきたいです。

泰旺のライフプラン

将来なにになりたいか? **建築家**

その理由: **人間のもう一枚の皮ふのように安心できる場所をつくりたい**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	10(小4)	建築塾に通い 登山を始める	塾代
2019年	11(小5)	たくさんの方を訪ねる	
2020年	12(小6)	中学に向けて塾に通い知識を学ぶ	
2021年	13(中1)	中学に入り、体力作りのため、サッカーか水泳部に入る。	△学金
2022年	14(中2)	学校生活と時に自然の美しさ人の作品の美しさを感じる場所に行く	
2023年	15(中3)	高校に向けて勉強がんばる	
2024年	16(高1)	大学受験に向けて塾に通う	入学金
2025年	17(高2)	休みを利用して自作の建築模型に出る	
2026年	18(高3)	大学受験をがんばる 息抜きに水泳と登山をする	
2027年	19(大1)	建築学科に入学	入学金 授業料
2028年	20(大2)	専攻を調べ決める	
2029年	21(大3)	設計事務所でアルバイトしながら技術を身につける	アルバイト代
2030年	22(大4)	大学院進学勉強	
2031年	23(修1)	交換留学制度で海外の建築を学ぶ	留学費用
2032年	24(修2)	修士制作と論文をがんばる	
2033年	25	海外留学建築学専攻に変わる	留学費用
2034年	26	海外でも設計事務所でインターンアルバイトをする。	